



"Program Update"

飛行試験機 2号機 米国初の飛行試験を開始

1/5(現地時間)、昨年末(12/19)にフェリーフライトを完了した飛行試験機 2号機が、米国では初めてとなる飛行試験を実施しました。同日正午にグラント・カウンティ国際空港を離陸した2号機は、基本的な飛行特性を確認する試験を実施し、離陸から約2時間20分後の午後2時20分に、グラント・カウンティ国際空港へ戻りました。

米国モーゼスレイクフライトテストセンター(MFC)のエリアは記録的な寒さが続いています。飛行試験は1日複数回実施するなど、着実に進行しています。



2号機 離陸

MRJ 事業推進に関する説明会を実施



三菱重工業株式会社 宮永俊一取締役社長

1/23、MRJ 事業推進に関する説明会を実施し、開発スケジュールの現状や今後の取り組みなどについて説明しました。

- 量産初号機の引き渡し予定について、一部装備品の配置変更等を実施するとともに、電気配線全体を最新の安全性適合基準を満たす設計へ変更するため、現在の2018年半ばから、2020年半ばに変更します。
- これらの設計変更は、機体性能や燃費効率、各種システムの機能性に影響を与えるものではなく、現在実施中の飛行試験においても型式証明取得に向けたデータ収集を継続します。
- 引き続き世界トップクラスの性能を備え、最新の航空安全規制に適合したMRJをお客様に提供することを目標に開発を推進していきます。

詳細は HP をご参照ください: [2017/1/23「MRJ 開発状況について」](#)

"Hot Topic"

Governor's Aerospace Meeting

現地時間 1/12、ワシントン州商務省にて実施されたガバナーズエアロスペースミーティングに森本浩通社長が出席しました。本ミーティングは、ワシントン州のジェイ・インズリー知事と、州内に拠点を持つ航空会社・装備品会社・サービス会社などの代表が対話するものです。席上、森本社長から知事に対し、シアトルやモーゼスレイクでの活動に対する日頃の協力への謝意を述べるとともに、本格化する型式証明取得活動・飛行試験の環境整備への更なる協力をお願いしました。会議終了後には、MRJの写真を贈呈。相互に協力関係を構築していくことを確認しました。



MRJの写真を知事に贈呈